

平成30年度 第3回南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会会議録（要点記録）

- 1 日 時 平成30年2月28日（木） 午後6時～午後7時30分
- 2 場 所 南砺市役所 利賀行政センター 特別会議室
- 3 出席者 委員12名（欠席5名）、アドバイザー1名、事務局6名、傍聴者0名
- 4 協議事項 (1) 平成31年度短期山村留学実施計画について
(2) 長期山村留学の制度設計について
(3) その他
・子どもゆめ基金助成事業について

教育総務課長：

本日は、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただ今から本年度の第3回協議会を始めさせていただきます。

開会にあたりまして、城岸会長さんからご挨拶をいただきたいと思います。

城岸会長：

皆さんどうもご苦労さまでございます。南砺市では、ICT教育の関係、小中一貫教育の関係、さらに利賀に関しては山村留学ということで大きな課題が三つあります。つきましては、山村留学定住事業に関しての諸事業の協議をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

教育総務課長：

それでは早速協議に入らせていただきます。本日は育てる会から山本常務理事様にもご出席いただいております。来年度の事業計画などについてお諮りしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。ここからの進行は城岸会長さんをお願いいたします。

城岸会長：

はじめに、「平成31年度短期山村留学実施要項(案)」について、事務局のほうから説明をお願いします。

－ 資料1に基づき、事務局より実施要項（案）について説明 －

城岸会長：

引き続き、育てる会から具体的な活動計画について、説明をお願いします。

－ 資料1に基づき、育てる会より短期留学キャンプ詳細（案）について説明 －

城岸会長：

商工会利賀村支部より「平成31年度短期山村留学の広報及び募集計画」について、説明をお願いします。

－ 資料1に基づき、商工会利賀村支部より広報、募集計画（案） －

城岸会長：

協議事項（1）について委員の皆様から質問等があればお願いいたします。

委員：

確認ですが、7月29日は、テントを張って生活すること、それからコテージにて生活することとありますが、移動式のコテージを使用するのですか。

育てる会：

山の方にある古い方の大きいコテージを使用します。どうしてもテントで寝てみたい参加者については、コテージの近くにテントを張って寝てもらいますが、基本的にはコテージで生活することを考えています。食事については、雨が降った場合は、そば祭り時に使用している大きな建物がありますので、そちらを借りる予定で考えております。

委員：

定員についてですが、今回が20名ということで昨年、一昨年は30数名が目標であったかと思います。県内、市内で集まらないかもしれないということも含めて減らすという動きになったかと思いますが、参加していただいた方の反応は、かなりインパクトがある良いものと感じているように思います。今回の20名は県内、市内を含めてこれだけの人数で最良ということによろしいのでしょうか。

育てる会：

多くの方に利賀地域を知っていただくという趣旨もありますが、どうしても人数が多くなると管理的な負担も多くなるということもあります。参加者からは、一過性の楽しいという評価もありますが、みんなで苦労して一つのことをやり遂げたという深みがやや薄いように思えましたので、もう少し掘り下げた活動を行いたいと思います。もう一つの大きな問題は、7月末は大学生が試験と重なっているためにボランティアが当てにならないという事があります。また、育てる会スタッフも他の山村留学施設にいるために確保は厳しいものがあります。スタッフ、ボランティアの確保が厳しい中で多くの希望者を入れるということは、安全の確保を考えても厳しいものがあります。将来的に山村留学の拠点施設が確保でき、スタッフも常駐できるようになれば35人位でも良いかと思います。

城岸会長：

実施期間とスケジュール間について、学校との調整もありますので、校長先生方の意見

はありますか。

委員：

武蔵野市の小学校との交流も勘案してスケジュールを決めたという説明も受けましたので、今のところ、7月30日に学校行事等を入れていません。この日程がずれない限り交流は可能かなと思います。ちなみに次年度の利賀小学校の児童は11名の予定となっております。

育てる会：

参加する学年等を考えながらグループを作って活動できればいいと考えています。

城岸会長：

冬のキャンプについてプログラムの案が2つありますが、ご意見を伺いたいと思います。

育てる会：

12月28日については、農家さんにてお世話になりたいと思っています。

委員：

12月28日の一日の間で出入りするの、スムーズに行くのかどうか。あまり問題がなければいいと思いますが。

商工会利賀村支部：

日帰りの場合は一日の中で出入りすることになりますが、農家泊することになれば、もう少しゆっくり農家の生活を体験できます。年末の時期に大丈夫かという懸念はあります。

委員：

冬季キャンプの期間中は、民宿を拠点として活動される方が、期間が短いのでいいのではないかと思います。

委員：

この件に関しては、色々な意見があるとは思いますが、1泊とは限らずに農家さんへの体験もあった方もいいかと思います。もう少し心の触れ合いが持てればいいと思います。

育てる会：

冬のキャンプまでは期間がありますので、9月頃までに受け入れしていただける農家さんについて調整できればと思っています。

城岸会長：

冬のキャンプについて利賀の子どもたちと活動する日はありますか。

育てる会：

雪が深い時期ですので、設定はしていません。たまたま受入農家さんの地域にいた子どもたちとの交流があればいいかと思っています。

城岸会長：

参加した子が単に利賀村で活動して、そのまま帰らずに利賀村の子どもたちと交流できればいいと思います。

育てる会：

宿泊を予定している民宿は大きいので、民宿に来ていただいて泊ってもらっても大丈夫だと思います。また、歩くスキーを一緒に行くことは、その時間帯のスタッフを増やせば可能です。天候が悪くなければ、決まった時間に集まっていたいで一緒に行くことは可能だと思います。

城岸会長：

青少年育成の立場からご意見はありますか。

委員：

12月28日、29日頃で雪が降っていれば、この時期はスキーの活動を行っています。利賀の子どもたちは滑るスキーを行っています。歩くスキーと滑るスキーで交流ができるかどうかだと思います。

育てる会：

スキー体験が初めての子は、アルペンならリフトに乗せるまで半日かかり、それだけで活動は終わってしまいます。歩くスキーならば簡単ですので、スキー場が圧雪されていれば交流は可能です。下見の時点ではスキー場の利用が終わっていましたが、スキー場が圧雪もされていれば利用できます。これから検討して、一緒に利賀の子も歩くスキーをするならば道具の用意は可能かと思っています。

委員：

利賀の子の希望者を募って行えばいいのではないのでしょうか。地域との触れ合いも大事だと思います。

委員：

利賀では、雪が怖いと思っている児童もいるため授業等では行っていません。希望者を募って行うのであれば、安全面に十分配慮していただければいいかと思っています。

育てる会：

歩くスキーは、怪我のリスクも少なく色々な場所へ移動できます。自然観察にも適しています。

城岸会長：

貴重な意見をいただき、ありがとうございました。より深化させて良いものを作ってくださいと思います。

城岸会長：

次に、「長期山村留学受入に向けた取組について」につきまして、事務局から説明をお願いします。

－ 資料2に基づき、事務局より長期山村留学受入に向けた取組について説明 －

城岸会長：

長期の山村留学に繋げていくことが大切であると思います。委員の皆さんから、ご意見等があれば伺いたいと思います。

委員：

この事業は利賀村の環境、地域性を積み重ねてきた経験が活かされている事業であって、産業的にも厳しい状況である中で、市の方からも協力、支援をいただいているところです。それに対して、地域内ではいま一つ長期留学の取り組みについて、対応できるかどうか難しいこともあるかと思います。しかしながら、ぜひとも地域の方々には、形は変わるかもしれませんが、利賀村に色々な人が入ってくることが、利賀村が元気になることであり、可能性を秘めていることでもあると思いますので協力していただきたいと思います。商工会では、交流観光では民泊などを推進していますが、資料を見る限りこの事業は、骨組みが出来てきたかと思いますので、長期留学を通して地域がしっかりと振興するようにしていきたいと思っています。ただ、受け入れを行い、民泊等になると女性の力が非常に重要になるとと思いますので、ぜひご協力をお願いします。

委員：

長期留学については、利賀地域の方々知ってもらうことが、地域の協力が必要となるという意味で、利賀村にとって大事です。何らかの機会を捉えて周知していただきたいと思っています。

委員：

かつて1年間、山村留学を受け入れしていたことがあります。その時は自分も家族も

若く、実際に自分の家にも子どもが3人いて、とてもやりやすかったです。今は、全体的に住民の年齢が上がっており、子どもを受け入れる絶対数も減ってきていますので、希望は持てますが、現実と照らし合わせると不安要素が多くあります。やはり、広くアピールして、利賀地域の皆さんの理解を得られるようにすることが大事です。この時期は、各地区の振興会の寄り合いがあると思いますので、それを機会に住民の方に理解をしてもらえるようにすればいいと思います。長期留学の方式は、かつて利賀村でやっていた里親方式なのではないでしょうか。どこかの施設で生活をして、時々受け入れ農家さんに泊まりに行く方式なのではないでしょうか。

育てる会：

こちらの計画では、全期間を里親に預けるのではなく、一月の3分の2位は施設で生活して、あとの10日前後は地域の農家さんにお世話になる方式で予定しています。

委員：

かつては、ほとんどPTAが受け入れ家庭となっていました。かつての様にPTAに受け入れをお願いすることは、児童数も減ってきており、出来ないと思っていますので、利賀の将来を憂いている人たちにPRをお願いしたいと思っています。

城岸会長：

家庭向けのチラシは作成しているのですか。

商工会利賀村支部：

チラシについては、作成済みではありますが、各家庭に配るタイミングを図っています。サンプルを持ってきますので、しばらくお待ちください。

育てる会：

PTAをお願いするのは、在校児童と受け入れ児童とのバランスもありますので難しいと思っています。他の地域では、60才から80才くらいまでの家庭で受け入れを実施しているところもあります。この利賀地域も元気があるので可能かと思っています。

委員：

これから先は100才時代だと言われていきますので、現在60才の方も世間の風潮に刺激を受け、自分もやってみようかと思う方もいると思います。

委員：

家庭向けのチラシを配るタイミングというのは、この資料だけを見ても分からない事があり、配布すると混乱することもあるから難しいのだと思います。区長に配っていただく場合は、区長も少し不安だと思います。振興会の寄り合いもありますが、この場にいる方

に振興会の際に説明していただけたら有り難いです。詳しいことは、事務局に聞いて下さいという事でいいと思いますので、紹介していただけたらと思います。

事務局：

家庭用のチラシの印刷にかかっていますので、先にその他についてご説明したいと思います。

城岸会長：

それでは、その他事項として「子どもゆめ基金助成事業」につきまして、育てる会から説明をお願いします。

－ 育てる会より子どもゆめ基金助成事業について説明 －

城岸会長：

今の説明並びに全体についてご質問はありますか。それから今、家庭用に配布するチラシをお配りしました。これについてもご意見を伺いたいと思います。

委員：

このチラシについて、検討することもあります。地域の振興会にて配布した際に何か質問があればこの場にいた人が説明し、詳しい事は、教育委員会や商工会に聞いてもらうという事として配布していただき、周知の道筋を作っていけばいいと思います。今回の長期留学は、前回の里親方式とは違い、全期間を家庭で受け入れするという事ではないということも伝えていただきたいと思います。

委員：

このチラシは、非常にわかりやすいチラシだと思います。

城岸会長：

自治振興会ではどう思いますか。

委員：

振興会でチラシを配布することがいいかどうかは分かりませんが、配布して難しく説明すると、説明された方は重く受け止めてしまいますので、配布して質問があれば商工会に聞いてくださいという感じでいいのではないかと思います。こういう動きをしている事を周知していく事でいいのではないのでしょうか。

城岸会長：

自治振興会長の了解も得られましたので、各家庭へのチラシについて進めてください。

それでは、本日の協議について終了させていただきたいと思います。

教育総務課長：

委員の皆様、たくさんのご意見いただき有り難うございました。次年度以降に繋げていきたいと思っております。来年度は、6月に第1回の協議会を予定しております。それでは、最後に高田教育長よりご挨拶を申し上げます。

高田教育長：

いよいよ、最終ゴールに向けての話し合いも深まってきたかなと思います。今回の短期留学は、深掘した活動をしたいとご説明がありました。また、協議会の話し合いも深掘した意見が出されたのかなと思っております。この山村留学を3段跳びに例えてみると、ホップは2017、2018年度の短期留学であり、2019、2020年度は冬の短期留学や交流事業が新たに加わるステップの段階になり、いよいよジャンプの時期がその後来るということになる。その中で我々としても色々整理すべき事がたくさんございますので、そうしたところをまた皆様方と相談させていただきたいと思います。先程も出ていましたが里親制度とは違うということが一つ大事なのかなと思います。そのために、どういう形で子どもたちを引き受けて、宿泊や集団生活が可能になるのかをこれから市当局と話し合いを進めていきたいと思っております。この事業の最終ゴールは、他から子どもたちが来て利賀小学校で学ぶことが最終ゴールになるかと思っております。皆様方からの熱い思いは、発足した当時から伝わっています。あと、商工会利賀村支部で考えられました各家庭へのチラシなど、地道な取り組みをいかに利賀地域の皆さんに知らせていくのが大きなポイントになるのかなと思います。我々としてもお手伝い出来ることがあれば、お手伝いをさせていただければ有り難いと思っております。今日は、そうした意味で最終ゴールに向けての色々な意見もいただきましたので、当局としてしっかりと踏まえて次年度からの定住推進協議会に結びつけていきたいと思っております。皆様方の委員の任期が2年ということで2年間有り難うございました。城岸会長さんには特にご足労いただき有り難うございました。副会長の米倉副会長さんにも色々ご心配いただきましたことを併せて感謝申し上げます。委員の皆様方、本当に2年間有り難うございました。

教育総務課長：

以上で協議会を終了させていただきます。次年度につきましてもよろしくお願いたします。ありがとうございました。

(午後7時30分閉会)